

# 日本音響学会 2019 年秋季研究発表会 参加・実施要領

期 日 2019 年 9 月 4 日(水), 5 日(木), 6 日(金)  
会 場 立命館大学びわこ・くさつキャンパス URL <http://www.ritsumei.ac.jp/campusmap/#bkc>  
(滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1(〒525-8577), Tel. 090-3221-8530(学会の携帯電話番号)  
JR 東海道本線(琵琶湖線)「南草津駅」下車, 近江鉄道バス「立命館大学行き」又は立命館大学経由「飛島グリーンヒル行き」乗り換え約 20 分)  
実行委員長 山下 洋一 教授 (立命館大学)

## 【重要事項】

### ★2019 年秋季研究発表会の事前参加登録について

参加費は「事前参加登録費」, 「会場参加登録費」の区分があります。参加費区分及び参加費は次の通りです。総合受付で参加の登録をされる方は, 「会場参加登録」になります。

参加種別	事前参加登録費	会場参加登録費
ア. 正 会 員 ……	10,000 円	12,000 円
イ. 終 身 会 員 ……	5,000 円	6,000 円
ウ. 学 生 会 員 ……	3,000 円	3,500 円
エ. 賛助会員所属職員 ……	10,000 円	12,000 円
オ. 会 員 外 学 生 ……	5,000 円	6,000 円
カ. 会 員 外 ……	22,000 円	26,000 円
キ. 高 校 生 ……	無料(高校生には, プログラムのコピーを用意します。)	

なお, 研究発表会終了後の講演論文集の販売価格は, 会員 12,000 円, 会員外 26,000 円です。

### ★2019 年秋季研究発表会の会場参加登録について

事前参加登録を行わなかった方は, 研究発表会総合受付で参加登録を行って下さい。「会場参加登録用紙」のご提出をお願いいたします。会場参加登録費は, 前記の通りです。

総合受付での手続き前に「会場参加登録用紙」に記入いただくか又は「会場参加登録用紙」に名刺を付けて参加登録の手続きをお願いします。「会場参加登録用紙」は, 学会ホームページにもファイルをおいてあります(I. 1. (2)参照)。  
できるだけ, 事前参加登録をお願いします。

### ★2019 年秋季研究発表会の論文集発行日(公開日)

2019 年秋季研究発表会の論文集発行日(公開日)は 2019 年 8 月 21 日(水)です。  
特許出願等の手続きを予定されている方はご注意ください。

### ★ポータルサイトの QR コード

「XIII. 2019 年秋季研究発表会ポータルサイトの QR コード」に QR コードを掲載してあります。  
なお, 2019 年秋季研究発表会のポータルサイトは, 8 月下旬に公開予定です。

### I. 講演発表者並びに聴講者は, まず総合受付に立ち寄り, 参加の手続きを行って下さい。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ web 経由で事前参加申込手続きをされた方には, 「参加章引換証」又は「講演論文集・参加章引換証」をお送りしてあります。忘れないように総合受付にお持ち下さい。</li><li>・ 研究発表会総合受付で参加登録をされる方は, 「会場参加登録用紙」のご提出をお願いします。「会場参加登録用紙」には, 会員番号, 氏名, 参加費の種別等を記入いただきます。事前参加登録費と会場参加登録費の金額が違ってまいりますので, ご注意下さい。</li></ul> |
|---|

#### 1. 総合受付: 立命館大学フォレストハウス 1 階ホール。会場案内図を参照下さい。

- (1) Web 経由又は e-mail で事前に参加登録をされた方で, 「講演論文集の事前送付」を希望された方には, 「参加章引換証」を, 講演論文集の事前送付を希望されなかった方には, 「講演論文集・参加章引換証」を請求関係の書類とともにお送りしてあります。忘れずに総合受付にお持ち下さい。なお, 「講演論文集の事前送付」を希望された方には, 8 月 23 日頃, 講演論文集をお送りいたします。
- (2) 事前参加登録を行わなかった方は, 「会場参加登録用紙」に必要事項を記入の上, 総合受付で参加登録手続きを行って下さい。

総合受付での参加の手続き前に「会場参加登録用紙」に記入いただくか又は「会場参加登録用紙」に名刺を付けて参加登録の手続きをお願いします。「会場参加登録用紙」は、学会ホームページにファイルを置いてありますので、予めご記入の上お持ちいただくと総合受付での参加登録に要する時間が短縮されます。

「会場参加登録用紙」は、学会ホームページにワードファイル、PDF ファイルを準備してあります。

([https://acoustics.jp/annualmeeting/call-for-paper/call-for-paper\\_jp/](https://acoustics.jp/annualmeeting/call-for-paper/call-for-paper_jp/))

(3) クレジットカードの取扱いの中止について

クレジットカードのお取扱いは、諸事情により中止させていただきました。悪しからずご了承願います。

2. 参加費：参加費は、「事前参加登録」と「会場参加登録」の区分があり、「事前参加登録費」と「会場参加登録費」は次の通りです。総合受付で参加の登録をされる方は、会場参加登録になります。参加種別により参加費をお支払いください。参加費は、講演発表者もお支払いいただくことになっており、講演発表者、聴講者の参加費は同額です。参加費には講演論文集[講演要旨・講演論文 CD-ROM]が含まれます。

(1) 事前参加登録をされた方には、すでに「参加章引換証」又は「講演論文集・参加章引換証」及びご請求書をお送りしてあります。「引換証」は忘れないようにお持ちになり、総合受付にお渡し下さい。

(2) 事前参加登録費及び会場参加登録費は次の通りです。会員の参加費は消費税の課税対象外（不課税）です。会員外は消費税の課税対象です。

参加種別	事前参加登録費 (Pre-registration fee)	会場参加登録費 (On-site registration fee)
ア. 正 会 員 ……………	10,000 円	12,000 円
イ. 終 身 会 員 ……………	5,000 円	6,000 円
ウ. 学 生 会 員 ……………	3,000 円	3,500 円
エ. 賛助会員所属職員 ……………	10,000 円	12,000 円
オ. 会 員 外 学 生 ……………	5,000 円	6,000 円
カ. 会 員 外 ……………	22,000 円	26,000 円
キ. 高 校 生 ……………	無料(高校生には、プログラムのコピーを用意します。)	

なお、研究発表会終了後の講演論文集の販売価格は、会員 12,000 円、会員外 26,000 円です。

※2019年秋季研究発表会に参加を予定されている方はwebから参加登録をお願いします。事前参加登録の申込は2019年8月14日(水)(期限厳守)までです。

(3) 会場内では、必ず参加章をお付け下さい。

### 3. 講演論文集について

(1) 構成：参加・実施要領、会場案内図、開催日順会場順のプログラム、講演要旨（アブストラクト）及び講演論文を収録した CD-ROM。

(2) 講演論文集に印刷した開催日順会場順のプログラムの講演に付記してある括弧内の数字は、講演論文集の講演要旨のページ番号です。講演論文個々のページ番号は、CD-ROM に収録のプログラム及び講演論文に表示してあります。

(3) 発表会終了後の頒布（送料、消費税を含みます。）

ア. 会 員※ ……………12,000 円

イ. 非 会 員 ……………26,000 円

※会員は当学会個人会員、法人会員を含みます。

4. 連絡先・申込先：学会への連絡は以下をお願いします。ただし、研究発表会の開催週(8/31～9/8)は e-mail をチェックできませんので、ご承知おき下さい。

一般社団法人 日本音響学会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-20 ナカウラ第5ビル

Tel. 03-5256-1020, Fax:03-5256-1022

Tel. 090-3221-8530(発表会準備・開催中(9/2～9/6)の連絡先)

e-mail: asj-meeting@acoustics.jp (研究発表会に関する事項)

e-mail: asj-apply@acoustics.jp (講演論文集の申込に関する事項)

## II. 日本音響学会 2019 年秋季研究発表会講演発表要領

### 1. 共 通

- (1) プログラムの講演者氏名に○印を付したものは講演発表者、◎印は講演発表者で栗屋 潔学術奨励賞の対象となる者、☆印は講演発表者で学生優秀発表賞及び栗屋潔学術奨励賞の対象となる者、△印は非会員です。なお、無印は連名の会員を示します。
- (2) 座長、副座長は都合により一部変更になる場合もあります。
- (3) 会場内には聴講者用のテーブルタップ等は準備しません。
- (4) 講演の取消について：原稿受領後の講演の取消は原則として認めません。やむを得ない事情で取消をせざるを得ない場合には、事前に学会事務局にご連絡下さい。
- (5) 代理発表について：原則として代理発表は認めません。やむを得ない事情があり、事前に文書(様式は事務局で準備します)が学会事務局に提出された場合には、連名者に限り代理発表を認めることがあります。当初の講演予定者及び代理発表者は、会員である必要があります。
- (6) 言語は、日本語及び英語とする。

### 2. 一 般 講 演(口頭発表) 発表持ち時間は、15 分です。

- (1) 講演者は、講演開始時刻の 15 分前までにそれぞれの発表会場に入室して下さい。発表会場では受付等の手続きはありません。会場内の前方に当該セッションの発表者席を設けてあります。講演者は、2. (5)の準備をして、発表者席で順番をお待ち下さい。
- (2) 講演時間は 10～12 分、質問時間 3～5 分とし、15 分で 1 件を終了することを厳守のこと。
- (3) 講演発表者への時間経過のお知らせは、ベル及びサインボードを併用し、次によります。
  - ア. 10 分経過：会場係アルバイト がベルを 1 回鳴らす。
  - イ. 12 分経過： " が“経過時間 12 分”と書いたサインボードを講演者及び聴衆に示す。
  - ウ. 14 分 45 秒： " がベルを 2 回鳴らす。

- (4) PC 用プロジェクタ及びスピーカは第 1～11 会場 (全一般講演会場) に準備します。

#### (5) PC 用プロジェクタについて

PC 用プロジェクタを各口頭発表会場 (ポスターセッションを除く) に準備します。それぞれの PC 用プロジェクタは、切り替え器 (4 台接続可能) と接続してありますので、当該セッションの発表で PC 用プロジェクタを使用される方は、講演発表前に接続又は件数の多い場合は接続の準備をして講演開始と同時に自分のコンピュータに切り替えて下さい。なお、学会ではコンピュータの用意はしません。コンピュータは必ず発表者ご自身が持ち込んで下さい。発表時間 (15 分) は、厳密にコンピュータとの切り替え等に要する時間も含まれますのでご留意下さい。講演終了後は、次の講演者のためにコンピュータとの接続をはずして下さい。

注) プロジェクタへのケーブル受け口コネクタの規格は D-sub 15 pin (ミニ D-sub15pin あるいは HD(3way)15pin と呼ばれることもある) で、15pin が 3 列配置になっている、現在最も多く用いられているタイプです。プロジェクタ自体の不具合を除き、機器の動作は講演者がすべての責任を持って下さい。

### 3. ポスターセッション

- (1) 会 場：ポスター展示会場は、プリズムハウス 1 階の 4 教室(P109 教室-P106 教室, 50 コマ)を使用します。ポスター展示板の教室ごとのコマ数は次の通り。総数は 50 コマです。

会場番号	教室名	ポスター展示板の数	備考
ポスター会場 A	プリズムハウス 1 階 P109 教室	13 コマ (1～13)	
ポスター会場 B	プリズムハウス 1 階 P108 教室	13 コマ (14～26)	
ポスター会場 C	プリズムハウス 1 階 P107 教室	13 コマ (27～39)	
ポスター会場 D	プリズムハウス 1 階 P106 教室	11 コマ (40～50)	

※( )内の数字は、講演番号の最後の数字

- (2) ポスター展示板のスペース等：一つの発表あたりのポスター展示板は、横幅が 150 cm で、高さは 210 cm です。ポスター作成に当たっては、左右の幅 150 cm 程度を標準として下さい。なお、上下の幅は 100 cm～110 cm 程度が適当です。(あまり下方に表示すると見えにくくなります)。ポスター展示板は画鋸で留めるタイプです。また、各ポスター展示板の間に 30 cm の間隔を開けてあります。(各発表者には椅子を用意。)

発表者は先に通知したポスター展示板の番号(講演番号の最後の数字)の展示場所を使用して下さい。なお、展示板の上部に、各自作成の講演番号、論文題目、著者(所属)を貼って下さい。また、この字の大きさは 2.5cm 角程度とします。

(3) 展示時間、部門、講演番号

		展示時間	部 門	講演番号	摘 要
第 1 日	午前	10:00～12:00	音声 A(1) (17 件)	1-P-1～1-P-17	A, B 会場
			音声 B(1) (17 件)	1-P-18～1-P-34	B, C 会場
	午後(1)	13:00～15:00	電気音響(1) (50 件)	1-Q-1～1-Q-50	A-D 会場
	午後(2)	15:30～17:30	聴覚/聴覚・音声(1) (17 件)	1-R-1～1-R-17	A, B 会場
第 2 日	午前	10:00～12:00	超音波/水中音響(23 件)	2-P-1～2-P-23	A, B 会場
			音声コミュニケーション(14 件)	2-P-24～2-P-37	B, C 会場
			SS[音響教育](9 件)	2-P-40～2-P-48	D 会場
	午後	15:00～17:00	音声 A(2) (17 件)	2-Q-1～2-Q-17	A, B 会場
音声 B(2) (16 件)			2-Q-18～2-Q-33	B, C 会場	
第 3 日	午前	9:00～11:00	電気音響(2)/ 聴覚/聴覚・音声(2) (46 件)	3-P-1～3-P-46	A-D 会場
	午後	13:00～15:00	建築音響(11 件)	3-Q-1～3-Q-11	A 会場

(4) ポスターセッションの展示時間及び説明時間について

ア. 展示時間は前掲の表によります。

イ. 発表者に説明義務のある時間帯(説明時間)が設定されています。原則として展示時間の前半は奇数番号、後半は偶数番号の発表者が展示板の前での説明を義務付けます。

- (5) 発表者は、展示の準備が終了後、ポスターセッション開始時刻にポスター展示会場に集合して下さい。

- (6) ポスター展示会場には、プロジェクタ、電源などの機材は用意しません。

- (7) ポスター展示板の前に、ポスター貼付用の画鋸、発表者用の胸章、指し棒を用意します。  
ポスターの貼付は、必ず備付の画鋸を使用し、セロテープ、両面テープ等は、絶対に使用しないこと。

- (8) ポスターセッションの未使用コマを当学会賛助会員の広報宣伝に利用いただくため「賛助会員ポスター展示」を実施いたします。出展企業については、後掲の XIII. をご覧ください。

#### 4. スペシャルセッション

(1) 音声研究委員会

分野名：分野横断 (音声 A, 音声 B)

和文テーマ： 音声情報技術の新たな応用に向けて

英文テーマ： Towards New Applications Using Speech Technology

会 場： 第 1 日第 3 会場 午後・前半

(2) 聴覚研究委員会

分野名：単独

和文テーマ： 注意研究の基礎と応用・臨床

英文テーマ： Basic, applied, and clinical research of the attention

会 場： 第 2 日第 6 会場 午前, 午後

(3) 電気音響研究委員会

分野名：共催 (電気音響, 超音波, アコースティックイメージング)

和文テーマ： 光技術と音響計測

英文テーマ： Optical technology and acoustical measurement  
会場： 第3日第1会場 午前・後半, 午後

(4) 超音波研究委員会

分野名：共催（超音波，アコースティックイメージング）  
和文テーマ：非線形音響技術の最近の動向  
英文テーマ：Recent advances in nonlinear acoustics  
会場：第2日第11会場 午後

(5) 高臨場感オーディオ調査研究委員会

分野名：共催（高臨場感オーディオ，電気音響，建築音響，聴覚，音楽音響）  
和文テーマ：高臨場感オーディオと人-高臨場と聴感  
英文テーマ：High-reality audio and listeners - high-reality and audibility  
会場：第2日第1会場 午後/第3日第1会場 午前・前半

(6) 音のデザイン調査研究委員会（その1）

分野名：単独  
和文テーマ：電動化・自動化時代の自動車の音デザイン  
英文テーマ：Sound Design for Electric and Autonomous Vehicles  
会場：第1日第2会場 午後

(7) 音のデザイン調査研究委員会（その2）

分野名：共催（音のデザイン，音バリエーション）  
和文テーマ：高齢難聴と音デザイン  
英文テーマ：Age-related hearing loss and sound design  
会場：第3日第2会場 午前，午後・前半

(8) 音声コミュニケーション調査研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：人の音声コミュニケーション - その科学と支援技術 -  
英文テーマ：Human Speech Communication: Its science and supporting technology  
会場：第1日第5会場 午後・前半, 午後・後半

(9) 音響教育委員会

分野名：単独  
和文テーマ：オープンキャンパス・オープンラボにおける音響展示  
英文テーマ：Exhibition of acoustics in open campus and open laboratory  
会場：第2日ポスター会場 午前（D会場）

(10) スポーツ音響調査研究委員会

分野名：単独  
和文テーマ：スポーツと音 その4  
英文テーマ：Sports and acoustics IV  
会場：第2日第9会場 午後・後半

## 5. 休憩室

休憩室1(フォレストハウス1階 F107 教室), 休憩室2(フォレストハウス1階 F108 教室)を準備しました。なお、コーヒー等は休憩室1に準備します。

## 6. 講演論文集 CD-ROM データの USB メモリ

総合受付付近に講演論文集の CD-ROM をコピーした USB メモリを準備いたします。ご自由にご持参の PC にコピーしてご活用下さい。

## 7. 無線 LAN

- (1) 無線 LAN の利用を希望される方には、休憩室で臨時ゲストアカウント (ID, Password) を配布する予定です。
- (2) eduroam に加入している機関の方は、通常お使いになっているアカウントで利用可能です。ただし、当大学の規定により、eduroam により当大学に vpn 接続して利用すること。

## 8. 記帳台

総合受付付近(フォレストハウス1階ホール)に記帳台を準備します。

## 9. ミーティングルーム (会場案内図では会議室で表示)

少人数の打ち合わせから各種委員会の開催に使用可能な会議室を準備します。受付付近に予約表を掲示しますので、これに使用時間帯を記入後にご使用下さい。予約の入っていない時間は打ち合わせなどにご自由に利用していただいて結構です。お茶、食事等の準備には対応いたしませんのであらかじめご承知おき下さい。

## III. 選奨行事

**日時** 2019年9月5日(木)13:00~13:30 [研究発表会第2日]  
**会場** 立命館大学 プリズムホール(プリズムハウス1階)  
**内容** 栗屋潔学術奨励賞, 学生優秀発表賞の表彰

## IV. 特別講演

**日時** 2019年9月5日(木)13:30~14:30 [研究発表会第2日]  
**会場** 立命館大学 プリズムホール(プリズムハウス1階)  
**演題** タバタトレーニングーエネルギー論的に最も有効なトレーニング方法ー  
**講師** 田畑 泉 教授 (立命館大学 スポーツ健康科学部)

## V. 懇親会

**日時** 2019年9月5日(木)19:00~ [研究発表会第2日]  
**会場** クサツエストピアホテル 2階瑞祥の間 (JR琵琶湖線「草津駅」徒歩3分)  
※アクセスはバスで移動。現地解散  
**会費** 6,000円 学生3,000円(学生は先着20名)  
**定員** 150名(学生20名)  
**参加** 事前申し込み制ですが、定員に達していない場合は、参加申し込みを受け付けますので総合受付にお問い合わせ下さい。事前申込者は、9月6日12時までに総合受付で懇親会参加費を納入して下さい。この時刻が過ぎると参加できない場合があります。

## VI. 技術動向レビュー

技術動向レビューは、主に研究発表会での発表内容に関連するトピックスを選び、その技術動向を体系的に整理した形で紹介する講演会で、今回が第15回となります。研究発表会に参加する上での「道しるべ」ともなる内容で、個別の研究発表や講習会とは異なった観点からの情報提供を目的としています。本会会員、賛助会員の開発担当の方々に、今後の技術開発や商品化の際に役立てていただければ幸いです。また、当該分野への新規参入を検討されている方をはじめ、若手エンジニアや学生の方々にとっても有益な内容になるように企画しています。

**日時** 2019年9月4日(水)15:00~16:30 [2019年秋季研究発表会第1日]  
**会場** 立命館大学 フォレストハウス3階F301教室(第7会場)

**テーマ** 「非接触音響技術に関する最近の動向」

**講演** 1. 超音波による非接触搬送技術 小山 大介 氏 (同志社大学)

2. 超音波による非接触音響イメージング技術 伊藤 洋一 氏 (日本大学)

**概要** 音響学は音に関わる学問領域であることから、主として人が聞くことを目的とする技術や現象を扱うことが多い。一方で音は波動現象であることから、情報の伝達や動力的な利用、すなわち聞くことを目的としない技術的な応用も考えられる。

今回の技術動向レビューは、このような聞くことを目的としない音響技術のうち、非接触で実現される技術について、今後社会の中での様々な応用が期待される最新の話題を提供する。具体的には、音の動力的な応用として、物体を非接触で操作する非接触搬送技術、また、波動情報の応用として、音によって固体内部の様子を可視化する非接触音響イメージングなどを紹介する。最後に、これらの技術の今後の発展、展開について議論する。

**対象者** 賛助会員所属職員、研究発表会参加者

※この技術動向レビューの聴講を目的に来場される賛助会員所属職員は、総合受付での研究発表会参加手続きは必要ありません。直接、会場にお越し下さい。他の講演会場に行かれる場合は参加章が必要です。総合受付(フォレストハウス1階ホール)で参加の手続きを行って下さい。

**参加費** 無料

※参加ご希望の方は、直接会場にお越しください。

## VII. ビギナーズセミナー

学生や新入社員など、新たに音響研究分野に入ってこられた方を対象とするセミナーを研究発表会に併せて開催しております。参加費は無料です。参加をご希望の方は直接会場にお越し下さい。

日 時 2019年9月4日(水) 16:30~18:00 [2019年秋季研究発表会第1日]

会 場 立命館大学 フォレストハウス 3階 F304号教室(第8会場)

テーマ 「空間音響ことはじめ」

内 容 空間音響は、音の広がりや聴こえ方を制御・認識する技術の総称であり、様々な音響コンテンツを楽しむ上で欠かせない存在です。本セミナーでは、空間音響の幅広い研究分野を俯瞰し、技術がどのように発展してきたか・どのような使われ方をしているかなどをご紹介頂きます。空間音響に興味ある方、分野外の方も是非ご参加ください。

プログラム (敬称略；以下は質疑応答時間を含む)

16:30-16:35 「ビギナーズセミナー開会の挨拶」 池宮 由楽 (ソニー(株)/学生・若手フォーラム幹事)

16:35-17:10 「バイノーラル再生による空間音響 ー録音・再生の基礎ー」 森川 大輔 (富山県立大学)

概要：バイノーラル再生は、両耳に装着したマイクロホンで録音した信号(バイノーラル信号)を、イヤホンなどを用いて聴取者の両耳位置で呈示することで、録音した空間の立体音を再生する方法である。本講演では、バイノーラル信号を得る方法、バイノーラル再生を行う方法、それぞれの注意点について解説するとともに、その歴史を紹介する。

17:15-17:50 「スピーカ再生による空間音響 ー音場收音・再現技術の基礎ー」 小山 翔一 (東京大学大学院)

概要：音のVR/ARを実現する上で、音空間の提示は必要不可欠な要素である。本講演では、両耳への音の直接提示を前提とするバイノーラル技術とは対照的に、複数のスピーカを用いてある領域内に音空間を提示する音場再現技術の基礎事項を解説する。また、再現する音空間を計測により取得するための、音場收音技術についても取り上げる。このような技術の特長は、音の空間的な制御によって、受聴者の動きへの対応や複数の受聴者への提示が可能となる点にある。関連技術の歴史的な変遷に加えて、最先端の研究内容についても紹介する。

17:50-18:00 「学生・若手フォーラムの紹介」

小泉 悠馬 (NTTメディアインテリジェンス研究所/学生・若手フォーラム代表)

## VIII. 賛助会員ポスター展示

ポスターセッションの未使用コマを当学会賛助会員の広報宣伝に利用いただくため「賛助会員ポスター展示」を実施いたします。ぜひお立ち寄りください。参加企業は、現在募集中です。参加企業名は、研究発表会会場でお配りするInformationでお知らせします。

## IX. 立命館大学への交通案内

立命館大学へは、東海道本線(琵琶湖線)南草津駅から近江鉄道バスで約20分。

近江鉄道バス <http://www.ohmitetudo.co.jp/bus/>

## X. 参加に際しての注意事項等

- (1) 立命館大学のキャンパス内は禁煙です。
- (2) 口頭発表及びポスターセッションのポスターの撮影(写真、動画等を含む)、録音等の無断撮影は禁止します。

## XI. 日本音響学会 2019年秋季研究発表会実行委員会構成(順不同・敬称略)

実行委員長	山下 洋一	立命館大学
副委員長	西浦 敬信	立命館大学
実行委員	徳田 功	立命館大学
〃	片岡 章俊	龍谷大学
〃	坂本 眞一	滋賀県立大学
〃	山西 良典	立命館大学
〃	石村 憲意	立命館大学
〃	井本 桂右	立命館大学
〃	福森 隆寛	立命館大学
〃	岩居 健太	立命館大学

## XII. 会場一覧(立命館大学)詳細は、学内配置図をご覧ください。

会場番号	講義室名	備考
第1会場	フォレストハウス 2階 F201号教室	
第2会場	〃 2階 F204号教室	

第3会場	〃	2階 F202号教室	
第4会場	〃	2階 F205号教室	
第5会場	〃	2階 F203号教室	
第6会場	〃	2階 F206号教室	
第7会場	〃	3階 F301号教室	
第8会場	〃	3階 F304号教室	
第9会場	〃	3階 F302号教室	
第10会場	〃	3階 F305号教室	
第11会場	〃	3階 F303号教室	
ポスター展示会場 (A)	プリズムハウス 1階 P109号教室		(1-13)
ポスター展示会場 (B)	プリズムハウス 1階 P108号教室		(14-26)
ポスター展示会場 (C)	プリズムハウス 1階 P107号教室		(27-39)
ポスター展示会場 (D)	プリズムハウス 1階 P106号教室		(40-50)
技術動向レビュー(9/4)	フォレストハウス F301号教室(第7会場)		15:00~16:30
ビギナーズセミナー(9/4)	フォレストハウス F304号教室(第8会場)		16:30~18:00
選奨会場(9/5)	プリズムホール(13:00~13:30)		プリズムハウス
特別講演会場(9/5)	プリズムホール(13:30~14:30)		プリズムハウス
懇親会場(9/5)	クサツエストピアホテル(19:00~20:30)		バスで移動
休憩室	休憩室1 フォレストハウス F107号教室		1階/コーヒー準備
	休憩室2 フォレストハウス F108号教室		1階
会議室・MTG 1	カラーニングハウス II 1階 C501		MTG はミーティングルームの略
会議室・MTG 2	〃	1階 C502	
会議室・MTG 3	〃	1階 C503	
会議室・MTG 4	〃	1階 C504	
会議室・MTG 5	〃	1階 C505	
会議室・MTG 6	〃	1階 C506	
会議室・MTG 7	〃	1階 C507	
会議室・MTG 8	〃	1階 C508	
会議室・MTG 9	〃	1階 C509	
会議室・MTG 10	〃	1階 C510	



本部室	フォレストハウス 1階 F101 号教室	
アルバイト控室	フォレストハウス 1階 F102 号教室	
総合受付	フォレストハウス 1階ホール	
論文集電子データのコピーサービス	総合受付(1階ホール)付近	(USB)
無線LAN	休憩室1で ID, Password を配布の予定	
記帳台	総合受付付近	

XIII. 2019 年秋季研究発表会ポータルサイトの QR コード

<p>ポータルサイトのQRコード</p>		
----------------------	---	--